

柏清風	11人
公明党	7人
日本共産党	4人
護憲市民会議	2人
柏愛倶楽部	2人
未来会議柏	2人
政和会	2人
新世柏	2人
無所属	2人
定数36名 現員34名	
平成27年4月13日現在	

3月定例会

27年度予算を可決

市立柏病院、移転凍結を受け議論集中



春爛漫（柏の葉公園 バラ園）

撮影者：安部 巖さん
撮影時期：平成26年5月

◆可決された主な議案の概要◆

- 柏市文化・交流複合施設条例の制定について
協働のまちづくりを推進するとともに、文化の向上及び福祉の増進に寄与するための施設に関し必要な事項を定めるもの
- 柏市立保育園条例の一部を改正する条例の制定について
子ども・子育て支援法等の施行に伴い、公立保育園の保育料、延長保育料及び一時預かり保育料の額、徴収根拠等を定めるため、柏市立保育園条例の一部を改正するもの
- 工事の請負契約の締結について（柏市立柏の葉小学校校舎増築工事（建築工事））
柏の葉小学校校舎の増築工事を行うもの
- 指定管理者の指定について（旧吉田家住宅歴史公園）
旧吉田家住宅歴史公園の管理を行う指定管理者を指定するもの
- 新市建設計画の変更について
新市建設計画（※）の一部を変更するもの
- 平成27年度柏市一般会計予算について
平成27年度柏市一般会計予算の総額を1,222億2,000万円と定めるもの

平成27年第1回定例会では、27年度の一般会計予算を初め、柏市文化・交流複合施設条例制定、新市建設計画の変更、柏の葉小学校校舎増築工事の請負契約締結などについて活発な議論が行われました。慎重な審議の結果、追加上程された1議案及び委員会提出議案1議案を含め、全48議案を可決しました。

○定例会の流れ

◆招集日（2月27日）

市長から施政方針、教育長から教育行政方針が示された後、副市長から46議案について提案説明がありました。

◆代表質問

（3月5・6・9日）

5日に柏清風、6日に公明党及び日本共産党、9日に護憲市民会議、市民サイド、未来会議柏、政和会及び柏愛倶楽部の各会派を代表する議員が、市政各般及び議案に関する代表質問を行いました（2～4面に質問内容を掲載）。

◆質疑並びに一般質問

（3月10・13・16日）

14人が登壇し、市政各般及び議案に関する質疑並びに一般質問を行いました（5・6面に質問内容を掲載）。また、

16日に1議案が追加上程されました。

◆委員会（3月17・19日）

17日に教育民生委員会と建設経済委員会、18日に総務委員会と市民環境委員会をそれぞれ開催し、議案や請願を審査しました（7面に議案の審査内容を掲載）。また19日に放射能等災害対策特別委員会を開催し、執行部から報告を受けました。

◆採決日（3月23日）

各委員長から審査の経過と結果の報告があった後、討論を経て、採決の結果、議案は全て原案のとおり可決しました。また、委員会提出議案（委員会条例一部改正）を可決しました（8面に議案・請願の議決結果を掲載）。

議会だより1面写真選考結果

【発行月】	【氏名(敬称略)】	【作品名】	【撮影場所】
5/1	安部 巖	春爛漫	柏の葉公園 バラ園
8/1	石井 庄衛	手賀沼花火大会	手賀沼
2/1	小川 達二	立春	あけぼの山農業公園

議会だよりの1面写真の募集に多くの方から御応募をいただき、議会広報委員会委員一同より御礼申し上げます。なお、今回選考された作品は、今後、議会だよりの1面写真に掲載する予定です。

◆主な内容◆

質疑並びに一般質問	代表質問	2面
質疑並びに一般質問	個人質問	5面
委員会審査		7面
議案・請願議決結果		8面

質疑並びに一般質問

代表質問

平成27年第1回定例会は招集日に市長から27年度施政方針が示されました。このため他の定例会とは異なり、施政方針や27年度予算などの総括的な事項について、それぞれの会派を代表する議員による代表質問が行われました。

なお、この記事は各議員が作成しています。

誰もが安心して住めるまちに

柏警察2署体制の実現を改めて要望

柏清風

山中一男



▼市立柏病院建てかえ

27年度予算に計上されている基本設計委託費の執行も凍結するのか。また市長が表明してきた移転の方向性に変化はあるのか。凍結中はどのような取り組みを考え、凍結期間の見直しはどのくらいか。

凍結期間中は基本設計事業やその他新たな事業の着手は行わないが、現時点で移転の方向性について、考えは変わっていない。凍結期間中は一度、丁寧に地域や医師会を初めとする市民の意見を伺うため少人数の会を数多く行うことにより、これまで以上に丁寧に声を拾っていきたいと考える。まず町会等の役員の方々の想定し平成27年4月以降取り組む。凍結期間は現時点では設定せず今後の状況に応じて慎重に対応していく。



市内に設置されたLEDの防犯灯

26年度末の普及率は約37%となる見込みである。普及のスピードアップに加え、導入コストのさらなる削減、歳出の平準化を目的としてリース方式によるLED化を推進する。事故発

検査実施医療機関として市立柏病院を想定し、体制が整いつつある。また、今後リース事業導入により町会、自治会の防犯灯管理が変わるのか。

放射線対策 放射性物質を含む指定廃棄物を南部・北部クリーンセンターで仮保管するが、周辺住民の不安の払拭や万全の安全性を今後確保していくため、市として具体的な努力を積み重ねていくことが必要である。最終処分場の確保について今後の取り組みは、



北部クリーンセンターに設置されたボックスカルバート

高度浄水処理施設を平成26年12月に稼働させたが、既に市民に給水されているのか。またその水質改善効果や利用者への影響などメリットは。

現地建てかえにも多くの課題があるように見受けられる。いま一度確認したいかがか。

職員によるワーキンググループが中心となり施策体系等属長で構成される会議で内容を精査していく。また4回の総合計画審議会でも基本構想の構成案等について審議が行われている。

平成16年から事あるごとに2署体制の必要性を訴えてきたがいまだ実現されていない。代替措置として移動交番やコンビニ二防犯ボックスの誘致を行ったが、柏警察署の多忙さや市内の犯罪発生が根本的に解消されるものではない。今後も粘り強く国、県に働きかけを続けていく。

放射線対策 放射性物質を含む指定廃棄物を南部・北部クリーンセンターで仮保管するが、周辺住民の不安の払拭や万全の安全性を今後確保していくため、市として具体的な努力を積み重ねていくことが必要である。最終処分場の確保について今後の取り組みは、

平成26年12月に地区計画と用途地域を決定したことで、市街化区域内の無秩序な乱開発に對しては一定の歯止めができた。現在は地区内権利者の土地活用の調査をし、約70%の方から回答があり、そのうち約3割が隣接地権者との共同での土地活用を希望している。今後インフラ整備と各権利者の土地活用、市が所有している先行取得地の活用について早期確保を強く要望した。

北部整備事業など周辺土地利用状況を見きわめた上で再度そこから発生する交通量や通過交通車両等を予測するなどし、道路の区分を定め、その後に必要歩道や自転車通行帯、植栽等の道路機能を見定め道路の幅員構成やルート選定をしていく。

策定状況と今後の予定は。

市民の安心安全のために柏警察署の2署体制の実現についてさらなる運動をする必要があると考えるが、今までの経過と進捗状況、また実現の可能性は。

平成16年から事あるごとに2署体制の必要性を訴えてきたがいまだ実現されていない。代替措置として移動交番やコンビニ二防犯ボックスの誘致を行ったが、柏警察署の多忙さや市内の犯罪発生が根本的に解消されるものではない。今後も粘り強く国、県に働きかけを続けていく。

放射線対策 放射性物質を含む指定廃棄物を南部・北部クリーンセンターで仮保管するが、周辺住民の不安の払拭や万全の安全性を今後確保していくため、市として具体的な努力を積み重ねていくことが必要である。最終処分場の確保について今後の取り組みは、

平成26年12月に地区計画と用途地域を決定したことで、市街化区域内の無秩序な乱開発に對しては一定の歯止めができた。現在は地区内権利者の土地活用の調査をし、約70%の方から回答があり、そのうち約3割が隣接地権者との共同での土地活用を希望している。今後インフラ整備と各権利者の土地活用、市が所有している先行取得地の活用について早期確保を強く要望した。

北部整備事業など周辺土地利用状況を見きわめた上で再度そこから発生する交通量や通過交通車両等を予測するなどし、道路の区分を定め、その後に必要歩道や自転車通行帯、植栽等の道路機能を見定め道路の幅員構成やルート選定をしていく。

基本的な考え方は。財政の健全性に配慮しつつ、選ばれたまち柏としてのまちの活力を維持していくことに留意した。限られた財源の中で、事業の成果や優先順位を見きわめながら喫緊の課題や5年後、10年後を見据え本市の発展に結びつく事業の財源を適正に配分した。

市民の安心安全のために柏警察署の2署体制の実現についてさらなる運動をする必要があると考えるが、今までの経過と進捗状況、また実現の可能性は。

放射線対策 放射性物質を含む指定廃棄物を南部・北部クリーンセンターで仮保管するが、周辺住民の不安の払拭や万全の安全性を今後確保していくため、市として具体的な努力を積み重ねていくことが必要である。最終処分場の確保について今後の取り組みは、

平成26年12月に地区計画と用途地域を決定したことで、市街化区域内の無秩序な乱開発に對しては一定の歯止めができた。現在は地区内権利者の土地活用の調査をし、約70%の方から回答があり、そのうち約3割が隣接地権者との共同での土地活用を希望している。今後インフラ整備と各権利者の土地活用、市が所有している先行取得地の活用について早期確保を強く要望した。

北部整備事業など周辺土地利用状況を見きわめた上で再度そこから発生する交通量や通過交通車両等を予測するなどし、道路の区分を定め、その後に必要歩道や自転車通行帯、植栽等の道路機能を見定め道路の幅員構成やルート選定をしていく。



2署体制を望む声のある柏警察署

待機児童数ゼロの達成見込みと今後の取り組み方針は。待機児童数は減っているが、約半数を占める1歳児の待機者数が空き定員数を上回っていることと地域的な偏りがあることから入園希望者全員が入園できるまでには至っていない。今後認可保育園退園者や入園辞退者等の枠を活用した利用調整を重ね、認定保育ルームへのあつせを行なうなど1人でも多く平成27年4月から利用できるよう引き続き待機児童解消に取り組む。



議会だより1面写真展を開催しました! 2月2日~5日に柏市役所本庁舎ロビーにて、2月6日~12日に沼南公民館ロビーにて、2月13日~19日に中央公民館ロビーにて過去の1面写真に応募いただいた作品の展示会を行いました。ごらんいただいた皆様、ありがとうございました。

病院移転凍結後の対応が重要



市民皆様の声を聴いていく柏市政を
公明党 中島 俊

▼市立柏病院移転問題

【問】平成26年12月議会後、公明党に対して現地建てかえを望む多くの方からの声が寄せられた。地域住民を初め、多くの市民に移転建てかえの十分な理解がなされているとは思えない。このことを重く受けとめ、公明党は市長に対し、平成27年1月16日、市立柏病院の移転建てかえ凍結に関する申し入れを行った。そこで何うが、地域住民の皆さんからの反対意見について十分な説明と理解がなされていない現状に対し、申し入れ以降今日まで、どう取り組んできたのか、今後どう取り組むのか。また、市長施政方針では、今後の建てかえ事業については、時間をかけて慎重に進めていく必要があると考えている。したがって、新病院建設事業については当分の間凍結することとし、市民の皆様との理解を得よう努めたいと表明された。このことから、平成26年12月議会で可決した基本設計委託費の取り扱い、予算の執行についてはどう考えるか。

【答】貴会派からの申し入れの内容については真摯に受けとめ、各方面の皆様にご心配、御迷惑をかけ、申し訳なく感じている。このことから、このたび、慎重に進めていく必要があると考え、事業の凍結を決定した。住民の方々の説明、議論が不十分であるとの御意見をいただいたことから、御意見を伺っていただく場をつくっていききたい。こ

らから、町会や自治会などの地域に入って、市立柏病院についての意見を聞かせていただくことが必要だと考えている。そして、新病院建設事業の凍結に伴う26年度の基本設計委託料の扱いについては、新病院建設事業を当分の間凍結するとともに、地域の皆様の意見を時間をかけて伺う考えである。したがって、予算を執行する見込みはない。

▼プレミアム付商品券について

【問】公明党の主張により国の26年度補正予算で創設された地域住民生活等の緊急支援のための交付金を活用し、本市でもプレミアム付商品券が発行される。経済対策に限らず、子育て支援策としての取り組みについて伺う。子供の人数に同じ、その家族を支援する貢献度を商品券に加算してみてもどうか。

【答】本市は、子育て中の生活を応援する、子育て生活応援券事業を実施する。全ての子育て世帯を対象に、また、多子世帯への支援にも配慮した結果、中学



平成21年に販売した柏市共通商品券

3年生までの子供に一人当たり、2000円の応援券を配付することにした。子供の人数に応じてさらなる加算をすることについては難しいが、この応援券が各家庭で役立つように、広く子育て世帯に届けていく。

▼教育行政について

【問】小中学校の統廃合について深刻な少子化の影響から、文科省は公立小中学校統廃合の手引を改訂し、スクールバス等の確保が可能な場合、通学時間がおおむね1時間以内を判断基準に加えた。本市の現状と今後の対応について伺う。

【答】現在、市内の小中学校は42校、児童数は約2万1000人、中学校は20校、約1万人となっている。市教育委員会が適正規模としている範囲は、小学校12学級から24学級で、将来的に児童生徒数が増加に転じるのは難しいと思われる。平成26年5月1日時点で、学級数、児童数の基準日の標準学級数で11学級以下の小学校は10校となっている。今後の対応だが、文科省の手引を参考に27年度中に基本的方針を取りまとめたいたいと考えている。

【問】特別支援学級数及び入級者数の増加に対応するため、特別支援学校の関係機関と連携しながら、児童一人一人に応じた特別な教育的支援の充実に努めると教育長の教育行政方針にあった。具体的な対応について伺う。

【答】現在、市内小中学校に在籍する特別支援学級児童生徒は、17年度から26年度のこの10年間に197名から529名と約2.7倍の増加となっている。通常の学級においても特別な支援を必要とする児童生徒や学校及び学級集団に適応できず、困り感を抱える児童生徒も増加傾向にあ



特別支援教育リーフレット

る。27年度から名称を教育支援員(※1)と改めて、増員を含め、充実に向けた取り組みを行う。具体的には、従来どおり特別支援学級に在籍する児童生徒を中心に支援を行うとともに、通常の学級に在籍する児童生徒にも部分的な支援を広げていく。さらに小一プロブレム(※2)の解消を初め、小学校低学年の時期に生活や学習の意欲化、習慣化を図るための役割を担う教育支援員を小学校に配置し、その効果の検証もしていく。各学校への教育支援員の配置人数、配置校については、児童生徒の状況を確認し、適切かつ効果的に配置をしていく。

【問】災害時の医療対応は医師会を含めた関係者と協議している。▼小中教室にクーラー設置を

【問】文科省は教室へのクーラー設置に対して3分の1を補助する。本市はなぜ設置しないのか。

【答】事業の優先性や財源の確保、コストなどを総合的に検討して

【問】「移転凍結」から「移転撤回」へ

【問】市長は移転凍結方針を示しているにもかかわらず、移転設計を進める予算案を示してきた。なぜ移転設計をやめる補正予算を出さないのか。

【答】設計予算については執行し

病院建てかえは現地で



市長は税金の無駄遣いをするな
護憲市民会議 末永康文

▼市立病院建てかえ問題

【問】市立病院は市民の財産である。市民の意見を聞かず移転するとか、運営方法を変えるとか、移転の方針は変わらない、凍結して町会役員など小規模での市民の声を聞くとどううが、何を聞くのか、アリバイづくりか。

【答】市立病院が公立病院として成り立っていくために、移転の考えは変わらないが、市民の皆さんの御意見を一つ一つ伺う。

【問】地域医療及び大災害時地域医療の拠点として現在地に必要だがどのように考えているか。

【答】災害時の医療対応は医師会を含めた関係者と協議している。

【問】文科省は教室へのクーラー設置に対して3分の1を補助する。本市はなぜ設置しないのか。

【答】事業の優先性や財源の確保、コストなどを総合的に検討して

【問】「移転凍結」の真意

【問】これまで市長はなりふり構わず、市民の反対を無視して強引に移転を進めてきたが、急な移転凍結表明に対し、市民から何か怪しいのではないかという声が高まっている。「凍結」の期

【問】「移転凍結」にもかかわらず、設計予算を残すことの問題点

【答】市長は移転凍結方針を示しているにもかかわらず、移転設計を進める予算案を示してきた。なぜ移転設計をやめる補正予算を出さないのか。

目を確認するよう指導している。再発防止に努めていく。

▼いじめ・不登校について

【問】中学校で200名近くいる不登校はどが原因と認識しているか、対策はどうしているか。

【答】原因はさまざま、幾つもの要因が複雑に絡み合った事例が多く、長い時間をかけた個別の対応が必要である。

【問】放射能対策

【問】最終処分場にある高濃度放射能はいつ運び出すのか。健康調査はするのか。

【答】地元協議会とも協議する。

会議録暫定版を公開中
質疑並びに一般質問の詳細は、
会議録暫定版で!!

校正中の原稿を「暫定版」としてホームページでいち早く公開しています。議会だよりの詳細は会議録暫定版をごらんください。なお、実際の会議録と一部異なる場合がありますので御了承ください。過去の本会議や委員会の会議録もホームページでごらんいただけます。

柏市議会ホームページ
<http://www.city.kashiwa.lg.jp/assembly/>

【問】市民にはさまざまな疑問がある。耳を傾け、我々の考え方を検討していく。

【問】検証を直すとしながら、方針は堅持するというのはおかしいのではないか。

【答】今まで公立病院のあり方を考えてきた。その部分については、市民の意見を聞く。新しい情報や状況が変化すれば、あらゆる可能性がある。

【問】急に出てきた「町会単位の聞き取り」の怪しさ

【問】市長の市民無視の姿勢に対し、市民は強い怒りを感じてきた。今さら、町会単位で話を聞くのは、何が目的なのか。

【答】小規模の説明会で、お一人お一人に疑問点を上げていただき説明していく。

【問】市立病院問題はもはや医療公社管理職員で回答できることではない。市民の声を聞きたというのであれば、市長が直接、話を聞くべきではないか。

【答】節目においては、市長である私も参加する。

※1 教育支援員=旧特別支援教育補助員。特別な支援を必要とする児童・生徒の学習・生活支援等を行う。
※2 小一プロブレム=小学校入学後の落ちつかない状態がいつまでも解消されず、授業規律が成立しない状態が数カ月継続すること。

市民への負担増は撤回を コミュニティバスの願い切実

日本共産党 平野光一



▼戦争か平和かの岐路
敗戦と被爆から70年。安倍政権は侵略と植民地支配の歴史を否定し、核兵器も容認の姿勢だ。本市は平和都市宣言の実現にどう取り組むのか。

▼市民憲章、平和都市宣言にのっとり、恒久平和の実現へ戦争の悲惨さや平和のとうとさを伝えることが大切。過去の歴史認識については国が正しく発信すべきで、私の認識を述べることは適切ではない。

▼原発再稼働反対の表明を
放射能被害を受けた柏市の市長として、なぜ再稼働反対、

▼戦後70年を表明できないのか。
原発事故は二度と起こしてはならないし、再稼働も慎重な対応で望むべきだ。エネルギー源としての原発の賛否は国における慎重な検討が必要である。

▼市立病院移転方針は撤回を
地元の外來患者などを病院にとつてのマイナス要素と市長は考えているのか。

▼外來の診療に偏っている現状を変えなければ、急性期の二次病院としての使命を果たすことが難しいと考えた。

市立病院は、現在の場所、

真の地域包括ケアの拠点としての再生を目指すべきだ。
今後、市立病院、介護老人保健施設はみんぐ、地域包括支援センター等を包括した保健医療サービスの提供のあり方についても検討する必要がある。

▼国保、介護の負担軽減
基金の全額取り崩しと一般会計からの繰り入れの増額で国保料も介護保険料も引き下げを断行すべきだ。

▼国保料引き下げの状況には
ない。一般会計からの繰り入れ増額は今後も慎重に対応する。介護保険料は基準月額で700円増だが、抑制に努めた。

▼介護報酬引き下げの影響
国の介護報酬大幅引き下げが事業所の経営困難、サービス後退を招くことは確実だ。市内事業者への影響は。

▼事業者の安定した運営やサービス低下への影響が懸念される。十分に注視していく。

▼特養の整備費補助金は、県が1ベッド当たり450万円に
対して本市は250万円。県並みにふやすべきではないか。

▼支援金には国からの補助制度がない。市の負担となるが、施設を整備するだけでは待機児童は解消できないという貴重な御提案と受けとめる。

▼契約に係る平準化後の検証
末端の業者まできちんと支払われたか検証すべきでは。

▼適切に対応されたか考える。
土砂等埋め立て等規制条例を改正して罰金を取ることはいいが、許可のとおり施工しているか定期的な検査を実施しては。適正な埋め立て事業の施工を確保するため規制を強化する。

▼子育て支援
妊娠から、出産、子育て、就労とワンストップでのサービスができる相談機関の設置を。

▼切れ目ない支援を検討する。
児童虐待防止の取り組みは。情報共有システムの導入や関係機関との連携強化を行った。

▼沼南公民館の近隣センター化
生涯学習と市民の活動をより一層充実させるべきだ。

▼近隣センターと化しても、生涯学習課が事業を継承し、今の利用が進むようにする。
図書館の今後のあり方
第五次総合計画での図書館


▼保健福祉行政について
健康介護予防の将来像は。多部署多事業の取り組みがあり連携・協働が必須。生涯元気に暮らせる社会形成を目指す。

▼教育行政について
いじめ等への生徒指導は、試験的アンケートや対策チーム増員等の局所的対応でなく、全学校の平準化を図るべきでは。現在の社会諸問題の根本は、生命への畏敬や道徳・倫理・礼節の欠如にあると思うが考えは。

▼学校間差が出ないよう配慮する。命の大切さも指導する。

みんなの幸せのために お金を大切に使おう

政和会 坂巻重男



▼市立柏病院移転
市民の「なぜ」の答えは。

町会単位に町会長等数人の小集会を開き意見を聞いていく。

町会長等数人の意見を聞くだけなら辞任して、平成27年8月の市議会選挙と一緒に、出直し選挙で民意を問うてはどうか。

▼環境問題
いろいろな形で話を聞きながらあらゆる可能性を検討する。

指定廃棄物について、何年間仮保管するのか、地元住民は不安を抱えている。しつこくいろいろな国に働きかけてはどうか。

国会議員と連携しながら、短期間で保管に關しての歩みを確立していただくよう要請する。

公共施設の緑化、特に教室の暑さ対策にエアコンを入れるのならば校舎全体を緑化しては。

26年度、市内小中学校4校で実証実験を行い、室内で平均1.7度下がった。体感温度も下が涼感が得られた。公共施設への設置を重点的に進める。

▼子育て支援
待機児童解消について施設をつくるのもよいが、それらにかかる費用を家庭に補助しては。

現在のところ増額の予定はない。しかし、据え置いた場合にサービス内容や利用者負担、事業者の財務状況への影響も懸念される。今後検討したい。

▼安倍政権で35人学級の年次計画がストップしたが、平成27年2月の国会で首相が「35人学級実現へ向け努力したい」と答弁。国・県へ強い働きかけを。


▼計画がストップした状況は大変残念に思う。教職員の増員は最大の教育条件整備・環境整備である。国・県への要望、働きかけを強めていく。

▼普通教室へのエアコン設置を求める市民の請願を議会は全会一致で採択している。なぜ無視するのか。

▼学習環境整備として重要だと認識している。しかるべきタイミングで判断したい。

▼コミュニティバス実現を
近隣自治体では大変好評だ。本市でも早期に実現すべきでは。

縦割り構造改革と市民協働 無駄なく漏れなく質の高い事業を 未来会議柏 長瀬慈村



▼総合計画について
総合計画策定に、市民意見をどのように反映させているか。

▼市民ワークショップでの意見や意識調査結果を活用する。

▼行財政改革について
これまでの経費・人員削減や事業の外部委託等の改革だけでなく、今後は関係する部署や団体・市民の連携・協働が重要だと思いが、考えはいかに。

▼縦割り構造改革は大課題で分野横断的連携を強化する。

▼新年度予算について
コンビニAED事業とは。

▼160店舗に設置し市民に周知、救命講習会等啓発を図る。

▼子ども子育て支援について
出産前後の特に精神的ケアが急務だが現状は。胎児期、乳幼児期、学童期、思春期と、子どもの健康管理の連続性が欠けているが今後は。現在の孤立的

の位置づけと公共施設等総合管理計画での図書館分館の方針は。

▼学習・子育て支援の充実と市民の課題解決支援の情報拠点と位置づける。分館のあり方を見直し、特色ある分館にする。

▼教員の負担軽減
学校事務職員の養成を。

▼研修や小中学校の連携で、学校事務機能の強化に努める。

▼学校施設の複合化
高齢者は小学生から元気をもらい、小学生は高齢者から経験を学ぶ。空き教室を活用した老人福祉施設を設置しては。

▼沼南公民館の近隣センター化
生涯学習と市民の活動をより一層充実させるべきだ。

▼近隣センターと化しても、生涯学習課が事業を継承し、今の利用が進むようにする。
図書館の今後のあり方
第五次総合計画での図書館

▼保健福祉行政について
健康介護予防の将来像は。多部署多事業の取り組みがあり連携・協働が必須。生涯元気に暮らせる社会形成を目指す。

▼教育行政について
いじめ等への生徒指導は、試験的アンケートや対策チーム増員等の局所的対応でなく、全学校の平準化を図るべきでは。現在の社会諸問題の根本は、生命への畏敬や道徳・倫理・礼節の欠如にあると思うが考えは。

▼学校間差が出ないよう配慮する。命の大切さも指導する。

議会を傍聴しませんか

柏市議会の本会議及び委員会は原則公開をしています。本会議の傍聴を希望される方は、本庁舎7階の傍聴席入口にある受付票に、住所、氏名を記入するだけで傍聴できます。また、委員会の傍聴は、本庁舎6階の議会事務局で受け付けています。



▼空き教室や地域のニーズを判断しながら、協議したい。

▼介護をする家族への支援
家族介護者の負担軽減や孤立を防ぐ交流の場を。

▼ケアラズカフェなど、介護者のための支援もしていく。

▼10代の家族介護者の実態を、行政は把握できていない。若い介護者への支援を。

▼相談機能を強化していく。

▼手賀地域の農業・観光振興
フットパス(※)の整備を。

▼市民団体の提言をもとに、農家や商店と協力し、展開する。

▼保健福祉行政について
健康介護予防の将来像は。多部署多事業の取り組みがあり連携・協働が必須。生涯元気に暮らせる社会形成を目指す。

▼教育行政について
いじめ等への生徒指導は、試験的アンケートや対策チーム増員等の局所的対応でなく、全学校の平準化を図るべきでは。現在の社会諸問題の根本は、生命への畏敬や道徳・倫理・礼節の欠如にあると思うが考えは。

▼学校間差が出ないよう配慮する。命の大切さも指導する。

▼保健福祉行政について
健康介護予防の将来像は。多部署多事業の取り組みがあり連携・協働が必須。生涯元気に暮らせる社会形成を目指す。

▼教育行政について
いじめ等への生徒指導は、試験的アンケートや対策チーム増員等の局所的対応でなく、全学校の平準化を図るべきでは。現在の社会諸問題の根本は、生命への畏敬や道徳・倫理・礼節の欠如にあると思うが考えは。

▼学校間差が出ないよう配慮する。命の大切さも指導する。

▼保健福祉行政について
健康介護予防の将来像は。多部署多事業の取り組みがあり連携・協働が必須。生涯元気に暮らせる社会形成を目指す。

※フットパス=森林や田園地帯、古いまち並みなど地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くことができる小道。

質疑並びに一般質問

個人質問

5日間にわたり、次の14人の議員が質問しました。なお、この記事は各議員が作成しています。

柏清風

古川隆史

●総合計画について

●事業の優先順位を総合計画に盛り込むとしているが、どのような形を考えているのか。

●施策に優先順位をつけるための物差しをどのように定めるのかは、かなり難しい作業であるが、10年後を見据えながら価値観を定め、現状をしっかりと分析し、説明が明確に提示できるように、計画書の構成を心がけて策定作業を進めていく。

●福祉政策について

●介護保険に関連して、地域支え合い体制整備研究会をつくり、日常の困りごとへの対応を検討するとしているが、ごみ出しやごみ当番等は、高齢化が進み大変であるという声を聞く。今回の介護保険の制度改正に合わせて、各地域の現状把握が必要と考えるが。

●介護保険法の改正によって地域支援事業の中に生活支援体

制整備事業が新たに位置づけられ、市町村による積極的な政策の推進が求められるようになっていく。柏市社会福祉協議会と協働して研究会を設け、ごみ出しのような身近な生活支援について、地域の担い手づくりや運営体制等、どの地域にも共通する課題を検討するとともに、行政による効果的な支援策についても、この研究会の重要な検討課題であると認識している。

後藤浩一郎

●市立病院 現地に病院を残し、市内の医療提供体制のバランスを保つていかねばならない。そのためには経営基盤の強化が必須である。医事専門の事務職員を配置し、病床稼働を上げるために救急をもっと受け入れるべきである。また、新病院計画の柱は小児二次救急であるが、不確実なことが多過ぎる。40床は過大ではないか。小児科医の確保は将来にわたって継続的に可能なのか。

●新たな財源の確保に向けて

●「ふるさと納税」制度が根づきつつある。1000を超えている自治体の特典を用意し、制度を活用した納税は毎年100億円以上に上る。千葉県でも船橋市等28の自治体の特典を設けている。国立市では歴史ある旧駅舎再建のために、同制度を活用した寄附の募集が行われている。国による控除額拡充の動きも無視できない。本市も特典の付与を含めた対応の検討が必要では

村田章吾

●JX・ENEOSサンフラワーズのホームゲーム再開を

●JX・ENEOSサンフラワーズは本市の知名度やイメージアップに大きく貢献している。ホームゲーム再開の可能性についてしっかりと調整していきたい。

●福祉行政の中核・地域包括支援センターの支援強化を

●地域包括支援センターを新たに2施設増設することだが、同時に既存施設への予算拡充など、さらなる支援を求める。

●機能の強化や必要な予算措置

●市立病院の移転問題

●今回は移転理由の具体的な質問はしない。市長は周辺の付加価値とか新しい病院は新しい土地でとか、抽象的な説明を繰り返すばかりで議論が全然かみ合わないからだ。小児救急を始めることは現在地でもできる。医療制度改革が現在地での存続を困難にしているという事情も

●市立病院、現地建てかえの場合、病院経営に影響はないのか。

●平成13年の改修工事の際には、約15%入院患者が減少した。ローリング方式での工事は来院者、病床数の減少により相当な収益面への影響が危惧される。

●その間、医師や職員の数は維持できるのか。

●建てかえを行っている間、医師や職員の数をそのまま維持することはできない。

●市立病院建てかえの本来の目的は現在抱えている課題を克服し、市民の安全な生活に寄与する新病院に整備することである。現在の市立病院が担っている二次医療と一次医療の二つの機能を整理して、新たな公立病院として整備することが必要と考える。病院は柏北部中央地区への移転により、現地には診療所を選択することが、その実現



市立柏病院

を鑑み慎重に検討する。医師の確保は研修や労働環境の整備等、市の取り組み次第である。

●契約事務

●建築費が高騰している。直近の設計労務単価の推移はどうか、公には事業をする上で収支という観念がない。病院の再整備等の大きな事業は建築予算の上限を定めるべきでは。

●24年度は前年比約1%、25年度は約15%、26年度は約7%、直近ではさらに約4%上昇している。契約事務は、積算や契約の仕方等、できるだけ効率的になるよう努めたい。

●JX・ENEOSサンフラワーズのホームゲーム再開を

●JX・ENEOSサンフラワーズは本市の知名度やイメージアップに大きく貢献している。ホームゲーム再開の可能性についてしっかりと調整していきたい。

●福祉行政の中核・地域包括支援センターの支援強化を

●地域包括支援センターを新たに2施設増設することだが、同時に既存施設への予算拡充など、さらなる支援を求める。

●機能の強化や必要な予算措置

●市立病院の移転問題

●今回は移転理由の具体的な質問はしない。市長は周辺の付加価値とか新しい病院は新しい土地でとか、抽象的な説明を繰り返すばかりで議論が全然かみ合わないからだ。小児救急を始めることは現在地でもできる。医療制度改革が現在地での存続を困難にしているという事情も

●市立病院、現地建てかえの場合、病院経営に影響はないのか。

●平成13年の改修工事の際には、約15%入院患者が減少した。ローリング方式での工事は来院者、病床数の減少により相当な収益面への影響が危惧される。

●その間、医師や職員の数は維持できるのか。

●建てかえを行っている間、医師や職員の数をそのまま維持することはできない。

●市立病院建てかえの本来の目的は現在抱えている課題を克服し、市民の安全な生活に寄与する新病院に整備することである。現在の市立病院が担っている二次医療と一次医療の二つの機能を整理して、新たな公立病院として整備することが必要と考える。病院は柏北部中央地区への移転により、現地には診療所を選択することが、その実現

●市立病院、現地建てかえの場合、病院経営に影響はないのか。

●平成13年の改修工事の際には、約15%入院患者が減少した。ローリング方式での工事は来院者、病床数の減少により相当な収益面への影響が危惧される。

●その間、医師や職員の数は維持できるのか。

●建てかえを行っている間、医師や職員の数をそのまま維持することはできない。

の検討が必要では。

●市立病院、現地建てかえの場合、病院経営に影響はないのか。

●平成13年の改修工事の際には、約15%入院患者が減少した。ローリング方式での工事は来院者、病床数の減少により相当な収益面への影響が危惧される。

●その間、医師や職員の数は維持できるのか。

●建てかえを行っている間、医師や職員の数をそのまま維持することはできない。

●市立病院建てかえの本来の目的は現在抱えている課題を克服し、市民の安全な生活に寄与する新病院に整備することである。現在の市立病院が担っている二次医療と一次医療の二つの機能を整理して、新たな公立病院として整備することが必要と考える。病院は柏北部中央地区への移転により、現地には診療所を選択することが、その実現

●市立病院、現地建てかえの場合、病院経営に影響はないのか。

●平成13年の改修工事の際には、約15%入院患者が減少した。ローリング方式での工事は来院者、病床数の減少により相当な収益面への影響が危惧される。

●その間、医師や職員の数は維持できるのか。

●建てかえを行っている間、医師や職員の数をそのまま維持することはできない。

●市立病院建てかえの本来の目的は現在抱えている課題を克服し、市民の安全な生活に寄与する新病院に整備することである。現在の市立病院が担っている二次医療と一次医療の二つの機能を整理して、新たな公立病院として整備することが必要と考える。病院は柏北部中央地区への移転により、現地には診療所を選択することが、その実現

●市立病院、現地建てかえの場合、病院経営に影響はないのか。

●平成13年の改修工事の際には、約15%入院患者が減少した。ローリング方式での工事は来院者、病床数の減少により相当な収益面への影響が危惧される。

●その間、医師や職員の数は維持できるのか。

●建てかえを行っている間、医師や職員の数をそのまま維持することはできない。

●市立病院建てかえの本来の目的は現在抱えている課題を克服し、市民の安全な生活に寄与する新病院に整備することである。現在の市立病院が担っている二次医療と一次医療の二つの機能を整理して、新たな公立病院として整備することが必要と考える。病院は柏北部中央地区への移転により、現地には診療所を選択することが、その実現

●市立病院、現地建てかえの場合、病院経営に影響はないのか。

●平成13年の改修工事の際には、約15%入院患者が減少した。ローリング方式での工事は来院者、病床数の減少により相当な収益面への影響が危惧される。

●その間、医師や職員の数は維持できるのか。

●建てかえを行っている間、医師や職員の数をそのまま維持することはできない。



Wリーグ優勝を果たしたJX-ENEOSサンフラワーズ

請願・陳情の方法

行政などへの要望を「請願」「陳情」として文書で議会に提出することができます。

- 請願 本会議・委員会で審議されます。内容に賛同する紹介議員（柏市議会議員）の署名か記名押印が必要。
●陳情 全議員へ写しを配付しますが、審議はされません。紹介議員は不要。
●提出方法 任意の用紙に代表者の住所・氏名（ふりがな）・電話番号を記入し、押印の上、件名、具体的趣旨、説明または理由などをわかりやすく記載して議会事務局へ直接お持ちください。場所を示す場合は地番を明示し、「図面」を添えてください。
※署名簿は、各自が住所・氏名を自署。
※随時受け付けておりますが、請願は、定例会ごとに招集日の午後5時を締め切りとしています。

市民サイド

宮田清子

●旧吉田家住宅歴史公園

●旧吉田家住宅歴史公園の指定管理に2団体の応募があり、本市の外郭団体みどりの基金に決定されたが、候補者選定委員会でサービスの向上と効率的な管理で評価され、1400万円安く提案した民間の団体のほうがよかったのではないかと、総合的に勘案し評価した結果、先着順に戻してほしいと多くの声が寄せられたことと、抽せん倍率が低いためである。

●要望は何件あったか。
●メール等は5件ほどだが、口頭では多かった。申請者に聞き取り調査をしたら、先着順の希望が抽せんの4倍あった。

●申請者は380人だが、何人に聞き取りをしたのか。
●28名である。

●駐輪場の申し込み方法
●柏駅東口第5駐輪場は、申し込み方法を抽せんしたり、先着にしたり、ころころ変えているのは問題だ。26年度分は抽せんだったが、27年度分は先着順にした理由は。

●先着順に戻してほしいと多くの声が寄せられたことと、抽せん倍率が低いためである。

●要望は何件あったか。
●メール等は5件ほどだが、口頭では多かった。申請者に聞き取り調査をしたら、先着順の希望が抽せんの4倍あった。

●申請者は380人だが、何人に聞き取りをしたのか。
●28名である。

●先ほどの答弁で申し上げたとおりである。

公明党

小松幸子

●市立柏病院

● 移転が実施されると、隣接地域を含め、相当範囲が総合医療機関の空白区域となる。高齢化がさらに進む中で、地域医療在宅ケアを守っていくには、現地の建てかえが望ましい。市長の見解は。

● 現在も現地建てかえを望む声が多数寄せられていることを考えると、貴会派からいただいた御要望にもしっかりと応えすべきものと考えます。一時凍結し、いま一度市民の皆様の声を丁寧に向っていく。

● 富勢地域は、ごみ最終処分場建設時においても、前原地区が全面的に受け入れてきたこと、そして、迷惑施設とされる火葬場もある。そのような状況下で、病院移転されることは、この地域は柏市から見捨てられた地域なのかとの憤りと悲しみの訴えがある。地域住民の声をどのように市長は受けとめておられるのか。地域に説明するに当たっても、白紙撤回した上で行っていただきたいが。

● 農産物のアンテナショップを設置できないか。

● ちば東葛農業協同組合が設置を検討しているの、市としても調整していく。

● 手賀沼周辺のイメージアップをどうしていくのか。

● 道の駅しようなんの機能拡充とイベントや周辺施設等、ネットワークを形成し、活性化を進めていく。



道の駅しようなんで行われたいちごフェア

● 振り込め詐欺について

● 振り込め詐欺アンケート調査の結果を受け、振り込め詐欺防止条例の実現可能性はあるか。

● 民間事業者や高齢者団体等から意見を聞き、県、柏警察署とも意見調整をし、条例の制定を検討する。

● 子供行政について

● 旧沼南地域のこどもルームに冷暖房兼用のエアコンを設置できないか。

● 今後、順次切りかえて設置していく。

● 地域の諸問題について

● しいの木通りの和菓子店の交差点の信号機の設置状況はどうなっているか。

● 柏警察署、地元町会、近隣住民との現地立ち会いが実施され、柏警察署は設置に関する町会要望書の提出を求めている。市としても強く要望していく。

塚本竜太郎

● 基金・歳計現金の運用

● 大分県国東市は基金運用益約2億円、利回り1.9%で全国一である。本市の基金の運用益及び運用利回りの中長期運用についての取り組み状況は。

● 25年度決算では、運用益約1711万円、利回り0.1%である。年度内の短期運用を中心としているが、2年の大口定期預金も一部実施している。

● 運用益を少しでも上げるため、基金の一括運用や基金・歳計現金・一時借入金の一元管理についても検討すべきでは。

● 国東市の事例は非常に先進的であり、一元管理等について

日本共産党

武藤美津江

● 介護保険制度

● 介護保険料の基準額が、1期目は2718円、今回6期目が4900円で、2倍近い保険料になっている。この15年間、年金の引き下げ、国保料・医療費の負担の増加、消費税の増税、物価の高騰、これ以上高齢者に負担を押しつけてはならない。保険料は引き下げこそ必要ではないか。

● 介護給付費用がふえていく中で保険料が上昇してしまうことは、やむを得ないものである。介護給付費用がふえていく

● 小学校、中学校の入学準備にかかる費用負担は大変である。福岡市では、入学前に前倒しをして支給を行うことになった。ぜひ本市でも入学準備金を前倒しで支給してほしいが。

● 今後、順次切りかえて設置していく。

も今後研究してみたい。

● プレミアム付商品券

● プレミアム付商品券を悪用した振り込め詐欺等への安全対策はどのように取り組むのか。

● 購入希望者が殺到しないよう抽せんで購入者を決定するが、これは往復はがきで行う予定である。振り込み等での購入は一切行っていないことをポスターや広報等に明記する予定である。

● 期日前投票所の時間延長

● リフレッシュプラザ柏、田中近隣センターも、他の期日前投票所と同じく午後8時まで実施すべきではないか。

● 午後5時以降の投票を希望される場合には、柏市役所など他の投票所で投票が可能である。

● 就学援助費の前払い実施は考えていないが、可能な限り早期支給に努める。

● 高柳駅の改善

● 高柳駅の橋上駅舎化の変更はあるのか。

● 工事コストの縮減や工期の短縮などを図るため、自由通路及び橋上駅舎の一体的な施工の設計に26年度内に着手する。

日下みや子

● 国民健康保険事業について

● 国民健康保険制度が抱える最大の問題は、他の保険と比較しても保険料が異常に高いことである。保険料の引き下げや減免制度の拡充が必要ではないか。

● 本市独自の減免制度の拡充は考えていない。

● 都道府県単位化への3400億円の国の財政支援によって

● 負担軽減にはならない。

護憲市民会議

本池奈美枝

● 市立柏病院移転凍結

● 市長は移転にかかわる事務の全てを凍結した。その期間は、その間各町会や自治会の役員から意見を聞くとのこと。なぜ役員だけのなのか。市長は移転ありきをまず撤回すべきである。さらに24億円もの税金を投資してまで移転すべきか問うべきでは。

● 凍結の期間は決めない。役員に地域の意見を集約してもらうことを考えているが、柔軟に対応したい。市立柏病院の院長も移転して病院を維持した方が市民に貢献できると言っている。

● イバスを実施しているが、なぜ本市は実施できないのか。

● 新たな交通の導入には、既存事業者との役割分担への配慮が必要。市民の移動実態のデータの結果を踏まえ、交通網の見直しに取り組んでいく。

● 沼南公民館の近隣センター化

● 平成27年6月議会に沼南公民館を近隣センターにする条例改正提案をする計画だが、多くの方が納得していない。利用団体以外の沼南地域の市民の声を聞き、疑問に答えるべきでは。

● 移行期間を延期して利用者と団体と話し合い、全て要望どおり取り入れる形で対応してきた。

渡部和子

● 市立病院は現地建てかえを

● 市立病院の移転計画を市長は当分凍結と言ったが、移転の方針は変わらないのか。

● 柏北部中央地区内の候補地に移転し建てかえる考えに変わ

● 市立病院は現地建てかえを

● 放射能対策

● 甲状腺エコー検査の予算が計上され、上限3000円の補助で300人分とのこと。3・11以降保護者の方の粘り強い取り組みがやっと実現し、市立柏病院で受診とのことだが、対象者への周知や体制は。今まで民間で受診した子供への補助は。

● 今、市立柏病院と協議検討している。対象者は事故当時出生から高校生相当年齢までとし、事故当時と検査日に本市に住民登録のある市民である。体制が整い次第周知する。夏休み前には体制を整えたい。

● 新中央図書館

● 第五次総合計画で示すとのことだが、市民の意見も聞くべきでは。

● 移転すれば新たな医療空白地帯を生み出す。いいの。

● 市民や医療関係者の意見伺い、地域の不安に対応する。

● 移転は白紙に戻し、謙虚に市民の声に耳を傾けるべきでは。

● 凍結は実務を停止すること。方針が変わるほうがおかしい。

● 東武線初石駅東口開設

● 流山市では26年度、基本計画策定に向け庁内関係部署の協議を開始した。本市との協議や今後のスケジュールを問う。

● 平成27年1月に流山市からの説明を受け、柏市民の要望を伝えた。流山市の検討状況を見ながら協議を進めていく。

● 公園整備

● 公園にトイレを設置してほしい。砂場は猫よけのフェンスが必要ではないか。

● 27年度教育行政重点化方針の中で位置づけた。今後方向性について十分協議する。

無所属

内田博紀

● 市長の政治姿勢について

● 今年は戦後70年を迎えるわけであるから憲法9条の歴史的役割の認識を踏まえ、柏市平和都市宣言を生かした施策を展開してほしいがどうか。

● 憲法9条は、戦後の日本において大変大きな役割を担ってきたと認識している。悲惨な戦争を二度と起こしてはならないという反省のもとに、その精神的な支柱となつたのが憲法9条であったと考えている。憲法については、9条のみならず多様な分野から、各界各層において国民的、市民的議論がなされていくものと認識している。柏市平和都市宣言は、憲法の基本理念である平和精神にのっとり、非核三原則の遵守と核兵器の廃絶を念願し、昭和60年3月議会において市長が平和都市宣言をするよう求める決議が行われたものである。平和都市宣言に基づき、平和展の開催や学校訪問事業を実施してまいりたいと思

● Twitter ●
やっています。

本会議や委員会開催などの情報を発信しています。下記のURLからアクセスしてください。

URL
twitter.com/kashiwa_gikai

委員会審査

市長から提出された予算や条例などの議案について、各委員会で審査されたものをお知らせします。

総務委員会

●行政手続条例一部改正

問 行政手続条例の一部を改正することにより影響が及ぶ分野は多岐にわたると考えるが、本市の中で想定される領域は。

答 ほとんど全ての分野で該当する。

●包括外部監査契約締結

問 包括外部監査の指摘事項について、素直に直していくようにさらに努力する必要があると考えるがどうか。

答 真摯に受けとめ、できるものもしっかりやっていく。担当課だけに任せず、予算編成等を通じて庁内でしっかり確認し、改善に向けて取り組むたい。

●26年度一般会計補正予算

問 公共施設整備基金については、現在、どのように整備するか検討しているところであり、予算規模も明確にならない段階で補正を組むことはどうなのか。

答 今までの公会計の問題は減価償却等建物が老朽化したときに建てかえる資金を積んでいないということが問題であったが、今後、公共施設の総合管理計画をつくる中で、どの程度必要になるのか試算していく。現状では、はっきりした目標を持っていないが、当面できることは取り組んでいきたい。

問 27年度一般会計予算
消防車両及び資機材等の更新整備で、小型動力ポンプ付積載車の配置についてはどのような区別しているのか。

答 最近の傾向としては、小型のポンプを車両に積む積載車よりもポンプ付きの消防車にしてほしいとの要望が多く、現在の配置状況は半々の割合である。消火栓等の整備が充実してくるとポンプ付きの消防車を希望する分団が多くなると考えている。現状では消防団の中の希望を聞いて、車両を選択している。

市民環境委員会

●文化・交流複合施設条例制定

問 市民交流センターをなぜD街区の再開発ビルに移転しようというようになったのか。

答 駅から至近距離であること、また再開発ビルの目的として駅周辺のにぎわいがあり、センターはさまざまな団体が利用することが想定され、来ていただくことによるにぎわい創出ということもあり、検討した結果、最適ではないかということでは計画を進めてきた。

●国民健康保険条例一部改正

問 国保の保険料は高く、引き上げると払えない。上げるだけではないか。

答 保険料の引き上げをするばかりではなく、医療費の抑制を図り、国・県からの調整交付金の獲得に努めて、安定した経営に努めたい。

●27年度一般会計予算

問 広報番組制作3900万円とあるが、視聴している方がふ

えているのか。

答 広報番組「これってナンダイ!?市立柏研Q所」は、平成26年7月から開所し、これまで18話まで番組を制作してきた。ホームページからの視聴数は、一番多くて6584件、平均が1554件となっている。県内でテレビ番組を制作している他市では、浦安市約320件、八千代市約150件、船橋市約240件と比較的本市の番組は見られているという感想を持っている。

問 ぼい捨て等防止条例ができ、毎年パトロールの方の予算をつけなければならぬ状況は改善できるのか。

答 柏の玄関、いろいろな方が集まるところは少し厳しくやっている。そのためはずっとパトロールの方の予算が必要となることについては、それにかわる何かを見つけて出していかなければならぬので、もう少し時間をいただきたい。

教育民生委員会

●柏市民ギャラリー条例一部改正

問 市民ギャラリーの使用料については、3年ごとに見直すことになっているが、使用料を上げることにこだわらず、そのときの経済状況を含めて対応してほしいが、いかがか。

答 見直しの時点で利用状況や社会情勢を見ながら判断していくものと考えている。

●27年度一般会計予算

問 ひとり親に対する学習支援について、どういった基準で児童や家庭を抽出するのか。

答 児童扶養手当を支給されている家庭の子供を手挙げ方式で募集する形で現時点で考えてい

る。学習支援ボランティアを派遣するについては、当事者団体、関係部署の意見を踏まえながら派遣型にするか学習室型にするのか、今後、検討していく。

●27年度病院事業会計

問 凍結している間、基本設計費の予算は執行しないのか。

答 凍結期間がいつまでかはわからないが、凍結解除にならないと動くことはできない。

問 凍結解除を宣言した後、設計に入るまでの期間が問題である。どのくらいの期間がかかるかと考えるか。

答 仮に北部への移転となれば、県に申し入れて、ある一定の検討期間がかかると思うが、まだ具体的に県と話をしていないのでわからない。

問 事業計画や用途変更などの都市計画関係の手続も凍結となるのか。

答 事業関係の執行は凍結である。県との打ち合わせもしていない。

問 市民の意見をしっかりと聞いていくということで継続補正は凍結と確認しているが、27年度予算は通さないと病院の営業に支障が出るのではないか。

答 27年度に営業を行う収益的収支の予算と、資産の計上や借金の元金を返す資本的収支の2本立ての予算となっている。営業活動等を行うためにこの予算議案の議決をいただきたい。

建設経済委員会

●勤労会館条例廃止

問 勤労会館条例廃止後の施設利用はどうなっているのか。

答 現在の「かしわ地域若者サポートステーション事業」に加え、シルバー人材センターを移

設し、就労支援の拠点としたい。

●26年度一般会計補正予算

問 プレミアム付商品券について、利用できる対象店が少ないと大型店に客足が集中してしまい、本来の事業目的と異なるように感じる。地域の小さなお店までが使用できるようにしていくべきではないか。

答 対象店が少ないと大型店に客足が偏ってしまうおそれがあるのは承知している。そのため、業界団体や広報紙等を通して、多くの事業者が本事業の周知を図り、広く参加を求めていく。

●指定管理者の指定(旧吉田家住宅歴史公園)

問 指定管理者の選定基準のうち、安定的な運営の部分について、みどりの基金は得点を伸ばしている。他の候補者とのような違いがあったのか。

答 会計士に入っていたか意見を聞くのが原則であり、その中で点数に差が出たと考える。

●27年度一般会計予算

問 豊四季・宿連寺線整備事業について、平成26年に一部は開通したが、一部だけ開通しても意味がない道路である。残りの整備に5年もかけるのは合理的でないのではないか。

答 整備対象の残りの区間には土地の地権者等がいて、スムーズに進捗するのは難しい。粘り強く交渉する姿勢で臨んでいく。

問 新規就農者支援事業について、農家の方は、行政は現場を知らないのではないかと感じているように思う。どう調整していくのか。

答 地域の農業者が里親となり、新規就農者はその里親の元で研修を受けてから自立する、というような仕組みづくりのため、里親への支援をしている。

お知らせ

松本寛道氏が4月12日に実施された千葉県議会議員選挙に立候補されたことに伴い、柏市議会議員としての職を失いました。また、これに伴い、市民サイド

は会派解消となり、同会派に所属していた宮田清子議員は無所属となりました。なお、常任委員会・特別委員会等の変更については、決定次第、ホームページにてお知らせいたします。

定例会の結果をいち早くお知らせ

インターネット速報版

柏市議会では、ホームページで結果の速報版を掲載しています。議会だよりの発行を待たずに、閉会后、速やかに定例会の結果をお知らせします。議案、請願の採決結果や主な議案の概要、各議員の質問内容などを、映像を交えてお伝えしますのでぜひご覧ください。



3月定例会の速報版

柏市ホームページ → 市議会 → 平成27年第1回定例会

6月定例会の日程(予定)

6月5日(金)	招集日
11日(木)	質疑並びに一般質問
12日(金)	
15日(月)	
16日(火)	
17日(水)	
18日(木)	常任委員会 (教育民生・建設経済)
19日(金)	
22日(月)	常任委員会 (総務・市民環境)
23日(火)	特別委員会
25日(木)	議案等採決

■ 議案の議決結果

（平成27年第1回定例会）

Table with columns: 番号, 件名, 結果, 柏清風10人, 公明党7人, 日本共産党4人, 護憲市民会議2人, 柏愛倶楽部2人, 市民サイド2人, 未来会議柏2人, 政和会2人, 新世柏2人, 無所属1人. Content includes '市長提出議案' and '委員会提出議案'.

■ 請願の議決結果

Table with columns: 番号, 件名, 主旨, 結果, 柏清風10人, 公明党7人, 日本共産党4人, 護憲市民会議2人, 柏愛倶楽部2人, 市民サイド2人, 未来会議柏2人, 政和会2人, 新世柏2人, 無所属1人. Content includes numbered requests and their outcomes.

○：賛成、×：反対、除：除斥
反対には、態度保留、継続等を主張し賛成でない立場を含みます。議長は表決に加わっていません。
※請願72号主旨1は議案第6号が可決されたことにより不採択とみなされました。
※請願73号主旨2の結果は、賛成と反対が同数であることから、議長裁決により不採択となりました。
※採決の時点（平成27年3月23日）では市民サイドが存在しています（7面に詳細を掲載）。

議会だよりに関する皆様のご意見をお寄せください。次回の議会だよりの発行は、8月1日（土）です。